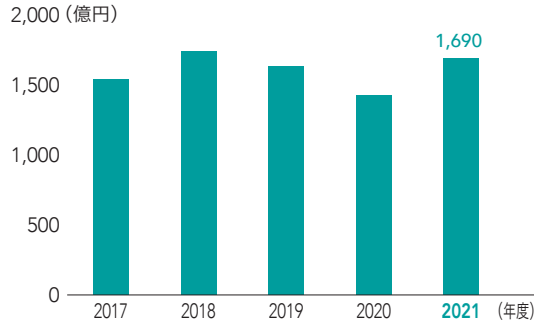


財務ハイライト

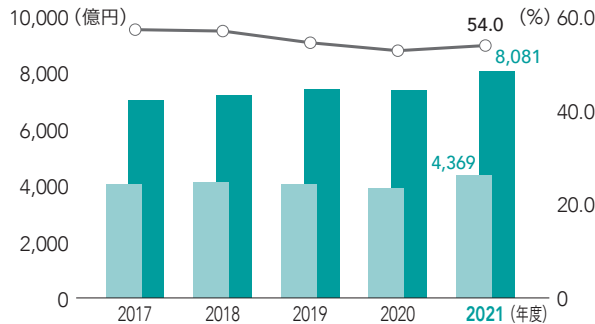
親会社株主純利益※



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

対顧客手数料ビジネスが好調に推移した結果、前年度比増益となりました。また、ベア投信の期間損益へのリスク縮減、将来の与信リスクへの備えにも対応しました。

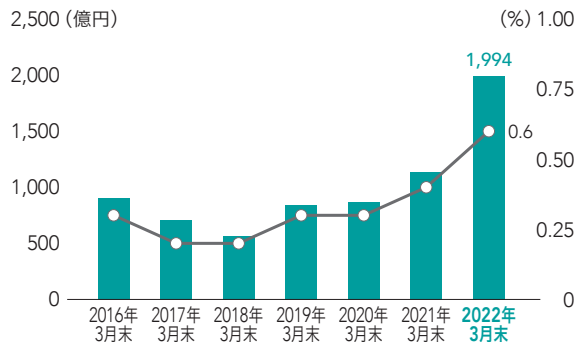
手数料収益比率※



○ 手数料収益比率 (右軸)
 ■ 手数料関連利益 (左軸) ■ 実質業務粗利益 (左軸)
 ※ 手数料関連利益 ÷ 実質業務粗利益

不動産仲介、投資運用コンサルティングなど対顧客関連の好調に加え、市況の堅調な推移を追い風とした運用ビジネス関連が増加した結果、手数料収益比率は上昇しました。

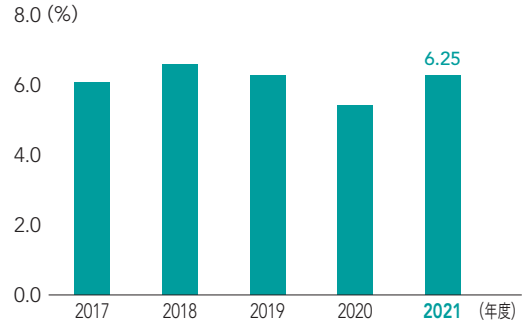
不良債権比率(金融再生法開示債権)※



■ 金融再生法開示債権 (左軸) ○ 開示債権比率 (右軸)
 ※ 三井住友信託銀行 (単体)

2022年3月末の総与信31兆円に対し、不良債権比率は0.6%と引き続き健全な水準を維持しています。

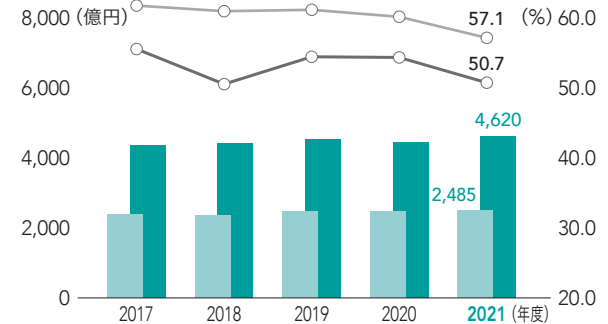
自己資本ROE※



※ 算出方法はP.126ご参照

親会社株主純利益が増益となったことから、上昇しました。

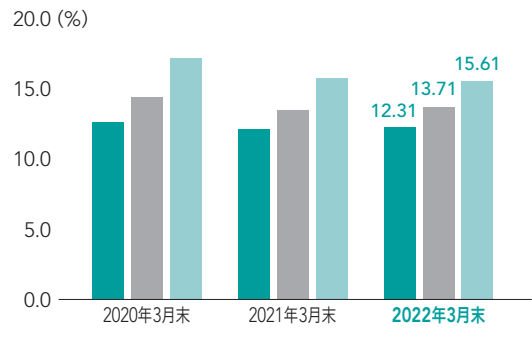
経費率(OHR)※1



○ 経費率(単体)※2 (右軸) ○ 経費率(右軸)
 ■ 経費(単体)※2 (左軸) ■ 総経費(左軸)
 ※1 経費 ÷ 実質業務粗利益 ※2 三井住友信託銀行 (単体)

連結、単体ともに経費は増加しましたが、経費の増加を上回る業務粗利益増加により経費率は低下しました。

自己資本比率等



■ 普通株式等Tier1比率 ■ Tier1比率 ■ 総自己資本比率

いずれも規制上の所要水準を十分に上回る水準を維持しています。